



2022年4月26日

株式会社 阿波銀行

株式会社トーショーの「SDGs 宣言書」策定について
～お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社トーショー（代表取締役 本山厚志、本社：東京都足立区）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|----------------------|
| 企業名 | 株式会社トーショー |
| 所在地 | 東京都足立区入谷九丁目 17 番 6 号 |
| 代表者 | 本山 厚志 |
| 業種 | 食品・化粧品製造業 |
| 設立 | 1978 年 9 月 1 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社トーショー 代表取締役 本山 厚志

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取り組み内容 | ①取り組みと②数値目標 | SDGsのゴール | |
|-------|---------------|---|--|----------|--|
| 社会・経済 | 格差の是正 | 正規・非正規等による様々な格差の是正に向けて、社員との活発なコミュニケーションを通して、平等な雇用に努めます。 | ①社内の規定・方針の見直し (同一労働同一賃金、最低賃金の順守等) | | |
| | | | ②2023年度までに従業員規程・方針を見直し、再策定し社内の全社員へ通知 | | |
| 環境 | ゴミ・廃棄物削減 | 未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。 | ①廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進 | | |
| | | | ②2023年度までに自社の廃棄物排出量を把握・算出し、リサイクル率50%以上達成 | | |
| 社会・経済 | 教育への貢献 | 自社のリソースを最大限利用し、地域の教育に貢献する活動を行います。 | ①職業体験や出張授業の企画・実施 | | |
| | | | ②2024年度までに地域の子ども向けに就業体験・課外授業を年3回開催 | | |
| 経済 | 経営理念・目標の発信、浸透 | 経営層が自社の事業方針について社員一人ひとりに浸透するよう、主体的に努めます。 | ①経営理念のHP上での公開 | | |
| | | | ②2023年度までに自社HP上にFSSC22000に基づいた食品安全方針を公開 | | |



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。